

2006年3月期通期の業績予想

下半期の主要取り組み

既存事業

モバイル事業

既存のbtoBtoCモデルをパッケージングし、ASPとして横展開を狙っていく。

ソリューション事業

サービスラインアップの充実、グループ会社との連動による提案力の強化。

新規事業

通勤TVを始めとする案件の事業化を急ぐ。

2006年3月期業績予想(単独・連結)

- 中核事業での売上達成と新事業への取組みで、連結売上1,190百万を予想。
- 既存事業 + 開発案件を中心に収益を上げ、連結での営業利益38百万円、経常利益28百万円、当期純利益16百万円を予想。

(単位: 百万円)

	第7期通期実績 (2005年3月) 単独	第8期通期予想 (2006年3月) 単独	第8期通期予想 (2006年3月) 連結
売上高	894	1,100	1,190
営業利益	1	53	38
営業利益率	-0.1%	4.8%	3.2%
経常利益	5	43	28
経常利益率	-0.6%	3.9%	2.4%
当期純利益	0	32	16
純利益率	0.0%	2.9%	1.3%

売上予想:

- ✓ 売上下期偏重の傾向
- ✓ 位置情報業務パッケージの拡大
- ✓ モニタリング倶楽部の堅調な増加
- ✓ ASPなどによるサービス拡大
- ✓ 開発費用の内部取り込み

収益:

- ✓ 新規事業、開発案件などで安定した収益を狙う。

2006年3月期売上構成予想(連結)

- btoBtoC案件とbtoB案件の両面展開。
- 既存事業 + 新規案件で、安定した売上構成を目指す。

